

株式会社 坂上鉄工所

どこよりも安く、 どこよりも速くを追求

海外発注可
試作可
小ロット
量産対応



展示会出展時の自社ブース

主な事業内容

ねじ、特殊ねじの開発・製造

主な取引先(納入先)

縫製業メーカー、農業機械メーカー、
工作機械メーカー

主な製品

金属部品、汎用ねじを
高付加価値化する追加工

業務内容 冷間鍛造と 旋盤二次加工でねじ製造

坂上鉄工所は昭和14年に個人事業として創業。昭和50年に法人化（有限会社）した。泉佐野周辺は長らく、泉州タオルの産地として栄え、同社はタオル織機に使われる経糸の間に緯糸を通すシャトル部品の工場として事業を拡大した。創業以来、冷間鍛造と二次加工旋盤を得意とし、主に縫製・ミシン業界向けに様々なねじを製作・供給してきた。転機となったのは約20年前のNC旋盤の導入だ。従来の量産品だけでなく、多品種小ロットの特殊ねじも製作できるようになったことで、縫製業界の仕事が縮小に進む中でも農業機械や工作機械業界などに納入を広げることができた。

強み 顧客ニーズに合わせて 製造法も提案

カム式自動旋盤とNC旋盤の二つの製造方法で、量産から多品種少量まで様々なオーダーに最適な方法を選択できるのが強みだ。冷間鍛造とカム式旋盤の二次加工の組み合わせによりコストを抑えた量産品の製作も可能。要求する寸法精度や納期が厳しい場合

追加工 汎用品ねじを 高付加価値化する

坂上社長は「他社がやりたがらない、やっていないことで差別化をめざしたい」と話す。その一つが、持ち込まれたねじや汎用品のねじに、切削追加工を施すことで、付加価値の高いねじに「変身」するサービスだ。フランジ部分に溝加工をしてOリングを取り付けることで防水ねじへと、軸挽き加工を施すことで脱着防止ねじへと高付加価値化する。イチからねじを作るのではなく、少しだけ削る受託加工を好んで引き受ける企業は少ない。坂上社長は「お客さんが喜んでくれるのであればやっていきたい」と意欲を燃やす。建設や農業分野など新たな業種の顧客開拓を期待し、提案する考えだ。

社長あいさつ



代表取締役
坂上 孝之さん

長年培ってきた経験とお客様からの信頼が誇りです。アイデアと創造性を持って、世の中に価値ある部品、すなわち“幸せを生むパーツ”を供給していけるような会社をめざしています。これからも、お客様、地域の人に喜んでもらえる、ものづくりに取り組んでいきます。

主な保有設備

- ヘッダー 10台
- 二次加工機 20台
- ねじ切用ローリング機 6台
- フライス盤 8台
- NC旋盤 6台

大阪
04

住 所 / 〒598-0007
泉佐野市
上町2-9-27
T E L / 072-463-1807
F A X / 072-464-2856
創 業 / 昭和14年
設 立 / 昭和50年
資本金 / 1,000万円
従業員 / 15名



NC旋盤で製作した部品



冷間鍛造から製作した部品



<https://www.sakaue-screw.co.jp/>